

会議録

会 議 の 名 称	第8回定例教育委員会
開 催 日 時	令和6年11月28日(木) 13時30分から14時25分まで
開 催 場 所	加東市役所 3階 301会議室
教育長の氏名 ・藤原 路寛 出席委員の氏名 ・田中 寿一 ・後藤 純子 ・岸本 恵一 ・別惣 裕美子	
出席した事務局職員の氏名及びその職名 ・教 育 振 興 部 長 鈴木 敏久 ・小中一貫教育推進室長 丸山 真矢 ・こ ども 未 来 部 長 田中 孝明 ・こ ども 教 育 課 長 下岡 正裕 ・こども未来部参事兼学校教育課長 井上 裕子 ・学 校 給 食 セ ン タ ー 所 長 芹生 祥子 ・教 育 総 務 課 長 西山 英希 ・中 央 図 書 館 長 田中 美紀子 ・生 涯 学 習 課 長 岸本 孝司 ・発達サポートセンター所長 友藤 由貴子 ・青 少 年 セ ン タ ー 所 長 花田 和典 ・教 育 総 務 課 副 課 長 堅田 美佳	
議題、会議結果、会議の経過及び資料名 1 議題及び協議事項、その他 <議 題> 第20号議案 滝野地域小中一貫校の愛称を定める件 第21号議案 加東市青少年活動助成金交付要綱を廃止する告示の件 <その他> ・12月補正予算(第7号)について ・加東市社・東条放課後児童健全育成施設条例の一部改正について ・後援名義の許可について ・各課主要行事予定・報告 2 会議の経過	
発言者	会議の経過 / 発言内容
教育長	(1) 開会
教育長	(2) 教育長挨拶
教育長	(3) 会議録署名委員の指名 ・別惣委員 ・岸本委員
教育長	(4) 前回会議録の承認について 【質疑応答なし】 ・承認とする。

教育長	(5) 教育長報告 (6) 議題 第20号議案 滝野地域小中一貫校の愛称を定める件 ○事務局から説明 【質疑応答なし】 ・承認とする。 第21号議案 加東市青少年活動助成金交付要綱廃止する告示の件 ○事務局から説明 【質疑応答】
委員 事務局 事務局	助成金の周知はどのような方法でされていきましたか。 ホームページ等でお知らせしていました。 ホームページに掲載の例規集を見て問い合わせがあったのですが、過去に助成した実績が無く、この要綱自体に具体的な要件が記載されていないため、どのようなケースが該当するのか即答できかねる状況でした。現在はこの要綱以外に、小中学生の県大会出場時の助成や、芸術文化において優秀な成績を収められ場合の賞賜金制度などがあり、助成関連の充実が図られていますので、全く助成実績の無いこの要綱については廃止という判断に至りました。 ・承認とする。 (7) その他 12月補正予算(第7号)について ○事務局から説明 【質疑応答なし】 加東市社・東条放課後児童健全育成施設条例の一部改正について ○事務局から説明 【質疑応答なし】 後援名義の許可について ○事務局から説明 【質疑応答なし】 各課主要行事予定・報告 ○事務局から説明 【質疑応答なし】
教育長	今回、教育委員に出席いただきました研究会等についてどうでしたか。 私は東条学園に参加しましたが、小中一貫校として今年で4年目になります。1年目は校舎が離れており、交流が難しい状況でしたが、先日訪問した際には

委員	前期課程と後期課程の子が違和感なく交流できていると感じました。私は今の5～9年生については前期課程で関わりがあり、特に今の9年生、7年生は、当時、元気な児童生徒が沢山いました。そのため教室へ応援に行くことが多かったのですが、先日、落ち着いて勉強している様子を見て大変嬉しくなりました。小中一貫校の中で上級生は下級生に見本を示さなければいけないという気運の醸成を感じました。 東条学園に行きましたが、開校前から様々な準備をしながら、小中学校が繋がりある授業作りをされているのがよく伝わる良い機会でした。また、小学校6年生は制服を着用することによる自立意識の芽生えからか、しっかりした様子がみられました。若い先生方はいろいろと勉強しながら授業を組み立てていることがうかがえ、その努力に頭が下がる思いで見させていただきました。
委員	東条学園の研究発表会では3年間をとおして課題解決に取り組むという内容でした。特に8年生の商品開発に係るプレゼンテーションでは、社会人にも通じる内容で、今後、高校、大学生とステップアップしていくと、立派な大人になるだろうと感心しながら見学しました。また、授業内容も私たちの時代とは大きく変わり、一步踏み込んだ現代的な授業内容になっており、授業準備をされる先生方の苦労を慮り頭が下がる思いで見させていただきました。
委員	三草小学校と滝野南小学校、東条学園の3校を見学しました。三草小学校では道徳、滝野南小学校は国語で、昨年滝野南小学校は3クラスのみの公開でしたが、今年は全てのクラスが公開となり、先生方の準備は大変だったと思いますが、全ての授業を見ることができました。道徳と活用の国語という共に難しい教科の限定された中での発表は、教員の能力向上につながる良い機会になっていると思いながら見学させていただきました。 東条学園では第1回目の研究発表会として、各学年で限定されたクラスの公開ではありましたが、意義のある発表会になっていました。市内最初の一貫校として、これまでの課程において多くの苦労があったと思います。今後の社学園、滝野学園の開校を見据え一貫校での研究会のあり方を念頭に回りましたが、出来るだけ早期に小中一貫校の研究発表会の形が確立されることに期待しています。また公開するクラスについても、社学園では総クラス数が更に増えるので、全クラス公開いたければありがたいのですが、どのような公開方法が良いのかも含めて研究いただきたいと思います。いずれにしても、3校ともに子どもたちの学びの足跡が見られる良い機会となりました。 今回、一貫校で9年間を過ごす特別支援の子どもたちの様子も見たかったのですが、東条学園では特別支援学級の公開がなく、少し残念に思いましたので今後の課題として検討いただければと思いました。 滝野中学校の体育大会を見学して、大変嬉しく思ったのが、車いすの子が一番先頭で入場し、表現運動では最前列の指揮台の前で表現をやっている様子が見られたことです。 以前から気になっていたのですが、特別支援学校の多くは、郊外にあり中心部に設置されている市は少ない。設置の優先度が低く設定されているのと同様、特別支援の子どもたちの事が後回しになっているのではないかという思いがあ

委員	りました。運動会でも中心に置いてもらうことがなかったのですが、今回滝野中学校の運動会の様子に、ようやく多様性の時代が来たと非常に感慨深く見せていただきました。 今回3校すべて見学しました。滝野南小学校と三草小学校は小規模につき各教室で指導案を参照しながら落ち着いて見学ができました。東条学園は全クラスを見たいという欲が出てしまい、各教室滞在時間5分程度で移動していると、結果的に授業内容も情報過多となり、個々のクラスの印象が薄まってしまいました。当日参加されていた先生から美術の授業2クラスに絞って見学されたと聞き、予め自身の専門や興味関心の高いものに絞り、じっくり授業を見る方法もあることに気づかされました。 また、公開授業後の環境部のポスター発表では、従来から清掃時間が5分短くなったため、掃除道具の使い方を学ぶことにより清掃の効率化を図る取り組みが紹介されていました。私自身も学生時に清掃はしていましたが、清掃方法についての指導を受けたことがなく、自己流になっているとの思いがあったので、大変実践的な取り組みだと感心しました。掃除ロボットに名前を付ける活動も、校舎内を綺麗に保つ意識づけの一環となる面白い取り組みだと思いました。 図書学習部の取り組みで、中学生の小学低学年に対する読み聞かせは、小中一貫校ならではの機会になっていると感じました。読み聞かせる相手によって本の選別時に配慮が必要になりますが、中学生が実際に低学年の児童に接しながら、本の内容は興味関心を引くものか、難しすぎないかなどについて考察しながら選書し実践していく過程は通常の授業の中では得られない貴重な経験になっていると思いながら見学しました。
教育長	次回の定例教育委員会は令和6年12月24日（火）午後1時30分から、市役所3階301会議室で開催の予定です。 （9）閉会